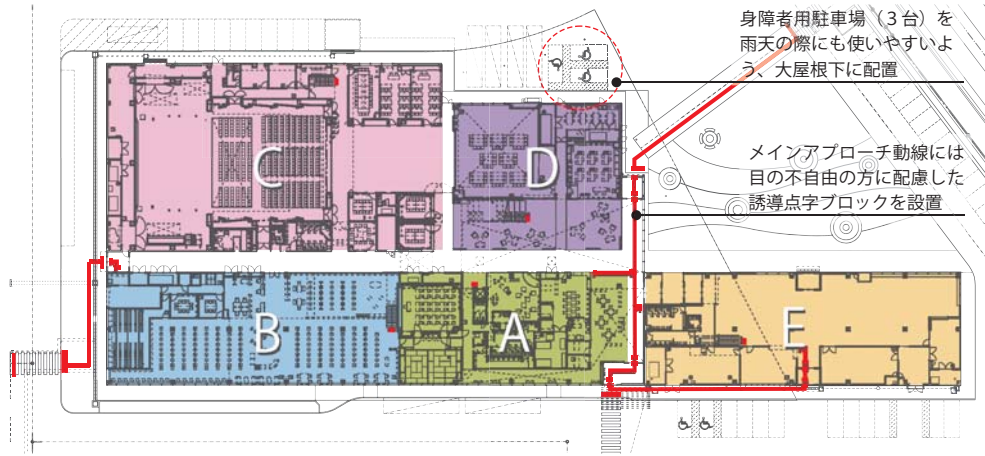


ふれあいを育てるしくみ

■だれにでも分かりやすい、使いやすい、親しみやすい「ユニバーサルデザイン」の実現するため、岩手県立大学社会福祉学部 狩野徹先生と共同により設計しました。

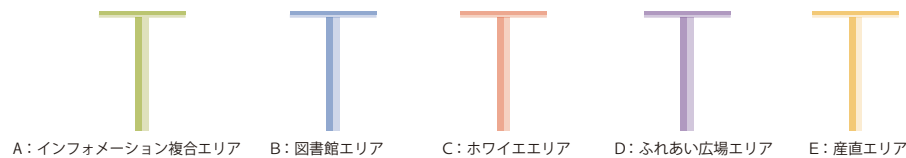
施設構成

東西・南北に抜ける明快な動線計画により誰にでも分かりやすい施設構成とします。



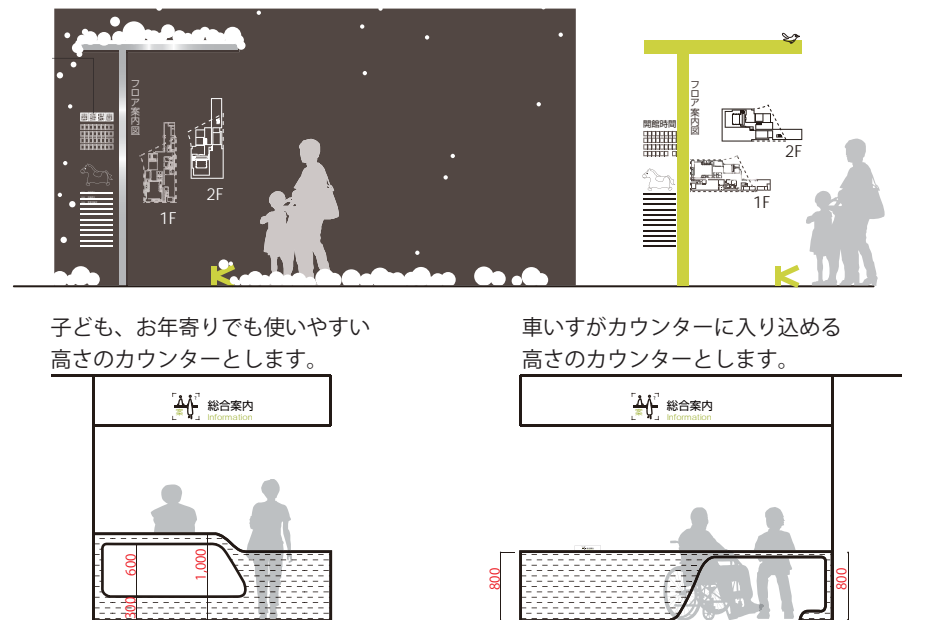
館内エリア色設定

館内の各エリアにテーマ色を設定し、メイン室の扉などに着色することで、どこにいても、自分の居場所をすぐに確認でき、また目的地を分かりやすく探すことができるように配慮しました。



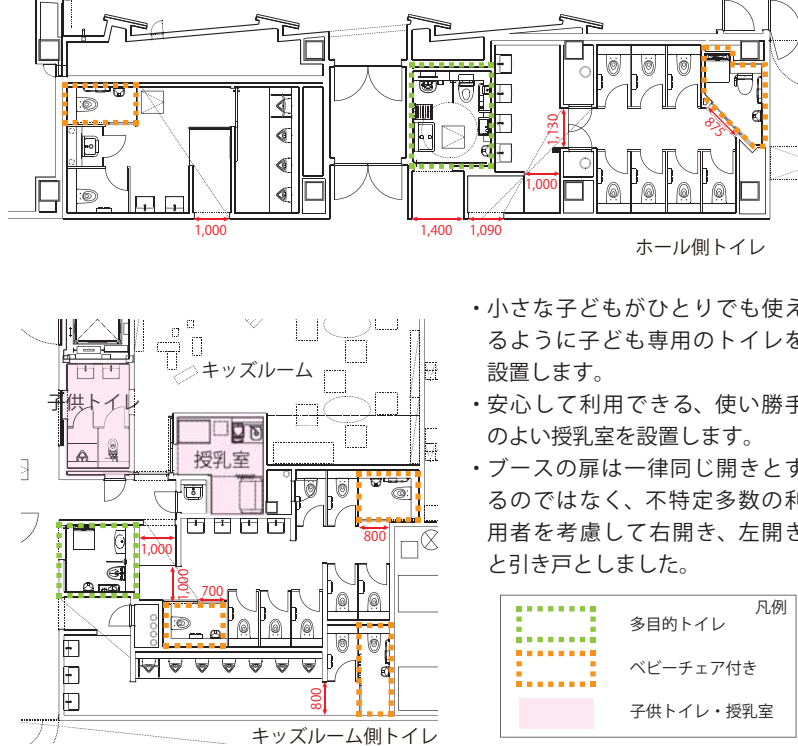
インフォメーション

- ・総合案内サインは、親しみやすい図柄、図面は触知図とし、目の不自由の方にも利用しやすいように配慮しました。
- ・余白部分はスチール下地となっているので、掲示板としても利用できます。



トイレ計画&サイン

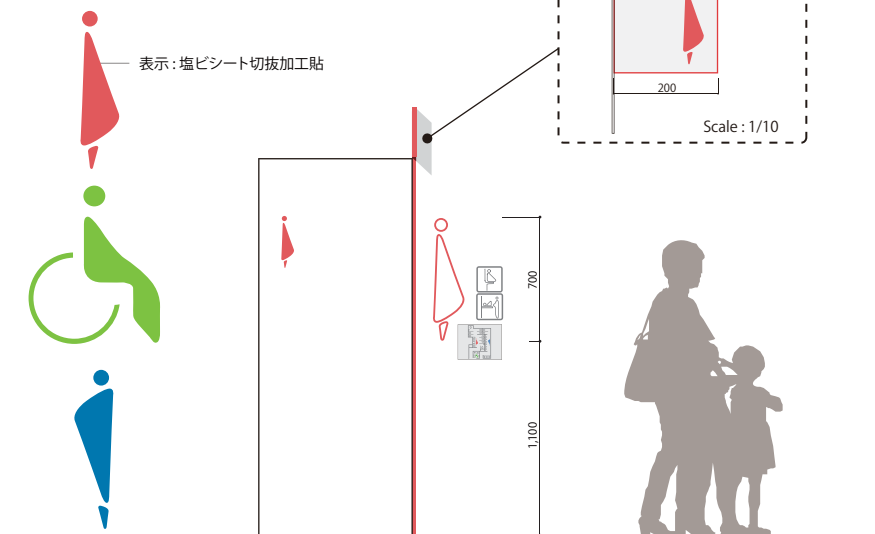
トイレは同じ大きさのブースを単調に配置するのではなく、ブースの大きさを一部広げるなどの対応により、多目的トイレ利用時の代替、子供連れ、ベビーカー利用の方々にも使えるよう効果的なユニバーサルデザインを取り入れました。



- ・小さな子どもがひとりでも使えるように子ども専用のトイレを設置します。
- ・安心して利用できる、使い勝手のよい授乳室を設置します。
- ・ブースの扉は一律同じ開きとするのではなく、不特定多数の利用者を考慮して右開き、左開きと引き戸としました。

トイレサインは見やすさ、分かりやすさを重視し、軸線上に突出しサイン、またトイレの前には色付きの大型サインを設置します。入り口脇には触知サインを設け、目の不自由の方々にも配慮しました。ピクトサインは他のオリジナルサインに合わせて柔かい雰囲気デザインとしました。

トイレピクトサイン

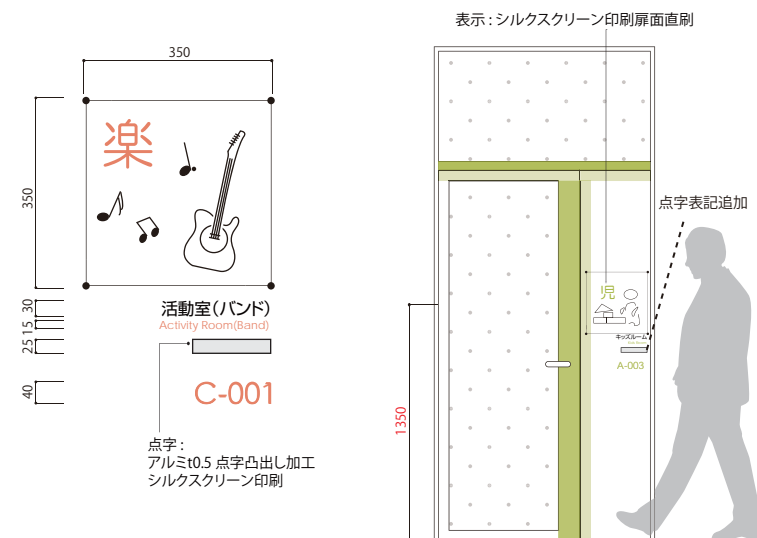


オリジナルサイン

交流拠点施設ということで、だれにでも、いつまでも親しみを持って楽しんでもらえる施設となるよう、オリジナルサインを考案しました。

識別サイン

- ・各部屋識別サインには漢字と絵と色を組合せ、分かりやすく楽しい雰囲気をつくり出します。
- ・また点字を併記し、目の不自由の方々にも配慮します。
- ・さらに国際化を見据え英語名称も併記します。
- ・一般利用者と車いす使用者の視線に配慮したサイン高さ (一般的な 1,500mm の高さを 1,350mm の高さ) とします。
- ・サインは見易さを考慮し、350mm 角の大きさとしました。



誘導サイン

- ・たきっこ (仮称) 滝沢市のアイデンティティをアピールできるように本施設のイメージキャラクターとして提案します。「たきっこに付いて館内を回る」ことをイメージして誘導サインを配置します。子どもたちに喜んでもらうとともに、滝沢ブランドをつくり出します。

